

共用検討の概況

電波時計

与干渉システム	進捗状況	今後の検討事項
電気自動車用 WPT	<ul style="list-style-type: none"> 机上検討により、WPT からの所要離隔距離を求め、共存可能かどうかを判断することについて合意。 	<ul style="list-style-type: none"> 机上検討により、WPT からの所要離隔距離を求め、共存可能かどうかを判断する。 現実的な使用状況を想定し、干渉緩和要素を検討することにより、所要離隔距離の改善を図る。
家電機器用 WPT① (6.78MHz モバイル機器)	—	—
家電機器用 WPT② (家庭・オフィス機器)	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車用 WPT の方が基本波の漏えい電界強度が大きいいため、電気自動車用 WPT の検討を先に行うことを決定。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車用 WPT の検討と併せて、現実的な使用状況を想定し、干渉緩和要素を検討することにより、所要離隔距離を算出する。
家電機器用 WPT③ (電界結合方式)	—	—

列車無線等

与干渉システム	進捗状況	今後の検討事項
電気自動車用 WPT	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本鉄道電気技術協会が、JR、民間鉄道事業者及び関連メーカーの調整の窓口となることが決定。 ● 自動列車停止装置(ATS)及び誘導無線を対象として、検討を行うことを決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 机上検討により、WPT からの所要離隔距離を求め、共存可能かどうかを判断する。 ● 現実的な使用状況を想定し、干渉緩和要素を検討することにより、所要離隔距離の改善を図る。 ● 机上検討の結果を踏まえ、実機を用いた確認の要否について検討を行う。 ● 自動列車停止装置(ATS)及び誘導無線以外の鉄道機器について、検討の必要性の要否を確認する。
家電機器用 WPT① (6.78MHz モバイル機器)	—	—
家電機器用 WPT② (家庭・オフィス機器)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気自動車用 WPT の方が漏えい電界強度が大きいため、電気自動車用 WPT の検討を先に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 机上検討により、WPT からの所要離隔距離を求め、共存可能かどうかを判断する。 ● 現実的な使用状況を想定し、干渉緩和要素を検討することにより、所要離隔距離の改善を図る。 ● 机上検討の結果を踏まえ、実機を用いた確認の要否について検討を行う。 ● 自動列車停止装置(ATS)及び誘導無線以外の鉄道機器について、検討の必要性の要否を確認する。
家電機器用 WPT③ (電界結合方式)	—	—

アマチュア無線

与干渉システム	進捗状況	今後の検討事項
電気自動車用 WPT	<ul style="list-style-type: none"> アマチュア無線の帯域内干渉を主な対象として検討を行うことを決定。 	<ul style="list-style-type: none"> 机上検討により、WPT からの所要離隔距離を求め、共存可能かどうかを判断する。
家電機器用 WPT① (6.78MHz モバイル機器)	—	—
家電機器用 WPT② (家庭・オフィス機器)	—	—
家電機器用 WPT③ (電界結合方式)	—	—

船舶無線等

与干渉システム	進捗状況	今後の検討事項
電気自動車用 WPT	—	—
家電機器用 WPT① (6.78MHz モバイル機器)	—	—
家電機器用 WPT② (家庭・オフィス機器)	—	—
家電機器用 WPT③ (電界結合方式)	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人全国船舶無線協会 水洋会部会が、船舶に搭載される無線通信システムのメーカーの調整の窓口となることが決定。 同一周波数帯を利用するナブテックスを主な対象として検討を行うことを決定。 自由空間における所要離隔距離を算出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 机上検討結果に基づき、共存可能かどうかの判断ができるかどうかについて検討を行う。

中波ラジオ

与干渉システム	進捗状況	今後の検討事項
電気自動車用 WPT	<ul style="list-style-type: none"> ● 家電機器用 WPT(電界結合方式)の周波数帯が近接しているため、家電機器用 WPT③(電界結合方式)の検討を先に行うこととした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● WPT の高調波による影響を評価し、必要に応じて共存検討の対象に加える。
家電機器用 WPT① (6.78MHz モバイル機器)	—	—
家電機器用 WPT② (家庭・オフィス機器)	<ul style="list-style-type: none"> ● 家電機器用 WPT(電界結合方式)の周波数帯が近接しているため、家電機器用 WPT③(電界結合方式)の検討を先に行うこととした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● WPT の高調波による影響を評価し、必要に応じて、共存検討の対象に加える。
家電機器用 WPT③ (電界結合方式)	<ul style="list-style-type: none"> ● 実環境における WPT の影響と所要離隔距離の机上検討結果との差異を確認するため、実機(市販ラジオとWPT 試作機)を用いた干渉の影響調査の必要性を確認した。 ● 所要離隔距離の算出に当たり、放送局どうしの干渉保護基準を参考にした算出方法を適用することが可能かどうかを検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 机上検討と、実機を用いた WPT による干渉の影響確認を行い、共存条件について検討する。